

UV Care

何が何でも焼かない主義

何を隠そう、元々は日焼けしやすい肌質。少しでも油断するとすぐに肌色が悪く、色素沈着してしまう肌質なんです。その上、紫外線によるダメージは“光老化”と呼ばれ、あらゆるエイジングサインの元凶と言われているので、UVケアは四季を通して必須のミッション。顔はUVカット効果のあるベースメイクを使用してガード。ボディにも通年日焼け止めを塗るようにしています。SPFとPA値を季節によって変えていて、紫外線が強い真夏はなるべく高いものを、その他の季節は肌に必要以上の負担がかからないようマイルドな数値のものを選ぶのがルール。外側からガードするだけではなく、夏場や屋外でロケの日はお出かけ前に“飲む日焼け止め”を一粒。体の外側だけでなく内側からも紫外線をシャットアウトするダブルのアプローチで透明感のある肌を死守しています。

コスメやサプリを味方につける一方で、日傘やサングラス、帽子などのアイテムでもUVをシャットアウト。あらゆる方向から徹底的に紫外線カットに立ち向かうのがすっかり板についてしまいました。

スティックに映るかもしれませんが、習慣にしまえばなんてことはありません。未来に向けて“美肌貯金”できるので、ケアしない手はないですね。



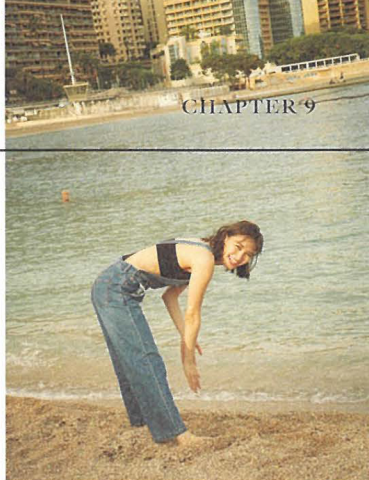
HELIOCARE

ULTRA-D

ビタミンを始めUVカットに立ち向かってくれる成分をぎゅーっと詰め込んだ飲む日焼け止め。紫外線が威力を増す夏や炎天下でのロケの日には毎朝1粒必ず飲むようにしています。衣里クリニックなどで購入できます。

Hand Care 指先まで気を配るのが大人の女性のたしなみ

末端まで美しい人でありたいから、意外と人の目に触れやすい手肌はこまめに保湿。目指しているのは顔の肌と同じくらい透明感があってキメ細やかな肌。質感は、タッチしたときモチっとしているのが理想。ネイルオイルで爪もピカピカに整えれば、所作まで優美に映るから不思議。



フォトグラファーの菊地さんは、
スニーカーのまま海に入って撮影してくれました。
スタッフのみなさんに感謝!!



SHOP LIST: BEAUTY

衣里クリニック表参道 ☎ 03-5786-0666